

中学校第3学年 音楽科学習指導案

1 題材名 混声合唱の魅力

2 題材について

(1) 題材観

本題材は、「ふるさと」（高野辰之作詞／岡野貞一作曲／黒部美樹編曲）、「YELL」（水野良樹作詞・作曲／鷹羽弘晃編曲）を教材として、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、ふさわしい歌唱表現を創意工夫しながら、混声三部合唱に取り組む題材である。また、学習の成果を発表する場として、題材終了後に学習文化発表会での演奏発表を位置付けている。

教材とする「ふるさと」は、混声三部合唱に編曲され、A-B-Cの3つの部分から構成されている。Bの部分は、各声部が多声的に独立して進行するオブリガートのような旋律で演奏され、Cの部分は、コーダとして編曲されており、様々な合唱表現を味わうことができる。「YELL」も「ふるさと」と同様に混声三部合唱に編曲され、A-B-C-A-B-C'で構成されている。四度の跳躍進行、十六分音符や十六分休符といった短い音価を中心とした旋律と、中学生の心情に寄り添った歌詞の内容が印象的な曲である。この教材を通して、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解を基に、生徒が表したい思いや意図をどのように歌唱表現するかについて追求することで、混声合唱の魅力に迫ることができると思う。

(2) 生徒観

本題材で学習するに当たって、「なぜ、音楽を学ぶのだろう」というアンケートを7月に実施した。「音楽の学習の中で、どの分野が得意ですか。」という質問では、約50%の生徒が「鑑賞」と回答したのに対し、「歌唱」と回答した生徒は約30%であった。「これまでの音楽の学習の表現領域（歌唱）の中で、どのようなことができるようになりましたか。」という質問では、約60%の生徒が「発声（声の出し方）」と回答した。このことから、発声の技能を身に付けることができていると感じている一方で、「身体の使い方（姿勢や呼吸の仕方）」、「全体の響きや各声部の声を聴きながら合わせて歌うこと」などの技能が身に付いていると回答した生徒が少なかったことから、このような歌唱の技能の習得が必要であることが考えられる。この実態を踏まえ、混声合唱の魅力に迫るために、歌唱に必要な知識及び技能を習得するための学習活動を工夫し、創意工夫を生かした歌唱表現で歌うことができるようにする。

(3) 指導観

指導に当たっては、まず、第1・2時で教材曲「ふるさと」、「YELL」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容に関心をもつことができるようにし、題材終了後に位置付けている学習文化発表会で、創意工夫を生かした歌唱表現で歌うためにどのように学習を進めていくかについて考え、確認することができるようにする。次に、各教材曲の旋律、テクスチャ、強弱に着目して聴取し、知覚・感受したことをワークシートに書くことができるようにする。また、各教材曲の似ている部分を比較聴取し、共通している部分やそれぞれのよさについて考えることができるようにする。曲想と音楽の構造について確認し、歌詞の内容との関わりについて理解を促す際は、各教材曲の旋律のリズムを手拍子で表したり、階名唱で歌ったりするようにする。第3・4時では、各教材曲の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解できるようにする。その際、第1・2時のワークシートの記述の内容や、楽譜を手掛かりにグループ及び学級全体で意見交流する場を設定する。また、各教材曲の自分のパートを正しい音程とリズムで歌うことができるようにする。第5・6時では、第4時までの学習を踏まえて、各教材曲にふさわしい歌唱表現について思いや意図をもつことができるようにし、創意工夫できるようにする。その際、各パートやグループで考えた歌唱表現については、実際に歌い確かめながら創意工夫するようにし、表したい歌唱表現に必要な技能の習得についても考えることができるようにする。第7・8時では、各教材曲にふさわしい歌唱表現への思いや意図を確認しながら、混声三部合唱で合わせて歌うことができるようにする。その際、1人1台端末などを活用して録音し、表したい歌唱表現ができているかについて、生徒自身が確認できるようにする。このような学習を通して、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けるとともに、混声合唱の魅力に迫りながら、歌唱の学習活動に取り組むことができるようにする。

3 題材の目標

- (1) 「ふるさと」、「YELL」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、「ふるさと」、「YELL」を全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。
- (2) 「ふるさと」、「YELL」の旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「ふるさと」、「YELL」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。
- (3) 「ふるさと」、「YELL」の混声三部合唱の全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う活動に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、混声合唱に親しむ。

4 題材の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>知 「ふるさと」、「YELL」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>技 創意工夫を生かした表現で「ふるさと」、「YELL」を全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>思 「ふるさと」、「YELL」の旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「ふるさと」、「YELL」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>態 「ふるさと」、「YELL」の混声三部合唱の全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う活動に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

5 題材の指導と評価の計画（全8時間）

時	◆学習のねらい ○学習内容 ・学習活動	評価			評価方法
		知技	思	態	
1・2	<p>◆「ふるさと」、「YELL」の旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、「ふるさと」、「YELL」を聴取し、曲想と音楽の構造や歌詞の内容に関心をもつ。</p> <p>○「ふるさと」、「YELL」の曲の概要をつかみ、題材全体及び学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと」、「YELL」を聴いたり、主旋律を歌ったりして曲の構成を知り、学習の進め方について確認する。 <p>○「ふるさと」、「YELL」の旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと」、「YELL」を聴取し、音楽の特徴（旋律、テクスチャ、強弱に着目して知覚したことと感受したこと）をワークシート（以下、WS）に書く。 ・「ふるさと」、「YELL」の似ている部分を比較聴取し、共通している部分やそのよさについて考え、WSに書く。 ・「ふるさと」、「YELL」の主旋律を受けもっているパートを確認しながら、全員で主旋律を歌う。 <p>○「ふるさと」、「YELL」の歌詞の内容に関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を考えながら、主旋律を歌う。 ・「ふるさと」、「YELL」の各パートの旋律のリズムを手拍子で表したり、階名唱で歌ったりする。 ・パートに分かれて、自分が担当するパートを正しい音程とリズムで歌う。 				
	3・4	<p>◆「ふるさと」、「YELL」の旋律、テクスチャ、強弱などの特徴を捉え、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、混声三部合唱で歌う。</p> <p>○「ふるさと」、「YELL」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと」、「YELL」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについてグループ及び学級全体で意見交流し、WSに書く。 ・「ふるさと」、「YELL」の自分のパートを正しい音程とリズムで歌う ・「ふるさと」、「YELL」を混声三部合唱で歌う。 	知		

5 ・ 6	<p>◆「ふるさと」、「YELL」の混声三部合唱における全体の響きと各声部の声などとの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>○「ふるさと」、「YELL」の混声三部合唱における全体の響きと各声部の声などとの関わりについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混声三部合唱において全体の響きと各声部の声などとの関わりについて、これまでのWSの記述の内容を振り返ったり、楽譜を手掛かりにしたりして考え、WSに書く。 ・WSの記述の内容を基にパートやグループで意見交流し、更に広げた考えについて自分のWSに書き加える。 <p>○これまでに学習した内容を生かしながら、どのように自分のパートを歌うかについて思いや意図をもち、「ふるさと」、「YELL」にふさわしい歌唱表現を追求する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと」、「YELL」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりや混声三部合唱における全体の響きと各声部の声などとの関わりを生かしながら、どのように歌うかについて思いや意図をWSに書く。その際、これまでのWSの記述の内容を参考にしたり、楽譜を手掛かりにしたりする。 ・各パートや学級全体の意見を踏まえ、学級全体で歌唱表現の工夫を共有し、実際に歌って試す。 ・次時の学習に生かすために、「ふるさと」、「YELL」を混声三部合唱で歌い、録音又は録画する。 						観察 ワークシート
	<p>◆本題材の学習を振り返りながら学習活動に取り組み、創意工夫を生かして「ふるさと」、「YELL」を混声三部合唱で歌う。</p> <p>○「ふるさと」、「YELL」をどのように歌うかについての思いや意図を再確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した内容を振り返り、取り組んできた歌唱表現の工夫を各パートで確認しながら歌う。その際、「ふるさと」、「YELL」にふさわしい歌唱表現となるように各パートや学級全体で各声部の役割や声量のバランスなどについて試す。 ・「ふるさと」、「YELL」を混声三部合唱で歌い、録音又は録画する。 ・録音又は録画した合唱を聴き、歌唱表現の工夫を見直す。 <p>○「ふるさと」、「YELL」の曲想や歌詞の内容を味わうとともに、混声三部合唱における全体の響きと各声部の声などとの関わりを理解して、創意工夫を生かして混声三部合唱で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと」、「YELL」をどのように歌うかについての思いや意図と全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能との関係を意識し、混声三部合唱で歌う。 						演奏（歌唱） 観察 ワークシート

6 本時の展開（7／8時間目）

(1) 本時の目標

「ふるさと」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、「ふるさと」を全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	形態	・指導上の留意点	■評価規準 (評価方法)
導入	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の終末に録音した合唱を聴き、「ふるさと」をどのように歌うかについて思いや意図を再確認する。 <p>・「ふるさと」の混声三部合唱における課題を把握する。</p>	斉	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末に、前時の学習内容を配付し、「ふるさと」をどのように歌うかについての思いや意図を確認できるようにする。 ・課題を把握する際、「ふるさと」にふさわしい歌唱表現をするために必要な技能について着目できるようにする。 	

	○めあてを確認する。			
		【めあて】 「ふるさと」の全体の響きや各声部の声などを聴きながら、歌おう。		
展開	<p>○「ふるさと」の歌唱表現を追求する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと」のBの部分について、WSの記述の内容や楽譜を手掛かりにして、どのように歌うかについて各パートで考える。 <p>・「ふるさと」のBの部分にふさわしい歌唱表現となるように、発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などを歌い試しながら確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各パートで構成したグループに分かれて歌い、各声部の役割や声量のバランスなどを確認するために録音又は録画する。 ・録音又は録画した「ふるさと」のBの部分について、ふさわしい歌唱表現になっているかについて聴き確かめ、必要に応じて歌唱表現を工夫する。 <p>○「ふるさと」を混声三部合唱で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで考えた歌唱表現の工夫について説明を行い、歌唱で発表し合うことで、「ふるさと」のBの部分にふさわしい歌唱表現について共有する。 <p>・全員で「ふるさと」を混声三部合唱で合わせて歌う。</p>	G 斉	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が必要なときに範唱を聴き確かめることができるように、1人1台端末に音源を配付する。 ・各パートでどのように歌うかについて考える際に、各声部の役割や他の声部との関わりなどを意識するように助言する。 ・実際に歌い試しながら歌唱表現を追求するように伝える。その際、歌唱表現に必要な技能のポイントについて助言する。 ・各声部の役割や声量のバランスなどを確認することができるように、各パートで構成したグループを編成する。 ・グループでの合唱を聴き確かめることができるように1人1台端末の活用を促す。 ・各グループの発表を基に、「ふるさと」のBの部分にふさわしい歌唱表現について説明を行い、歌唱で発表し合うことで、共通理解を図ることができるようにする。その際、表したい様々な工夫があることに気付くことができるようにする。 ・これまでのWSの記述の内容や楽譜への書き込みを確認し、どのように「ふるさと」を歌うかについて学級で共通理解を図る。 ・混声三部合唱で歌う際は、「ふるさと」の歌唱表現に必要な技能を意識し、全体の響きや各声部の声などを聴きながら歌うように伝える。 	<p>■技「ふるさと」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、「ふるさと」を全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 (演奏（歌唱）、観察、ワークシート)</p>
まとめ	○本時の学習を振り返る。	個 斉	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに記入するように伝える。 ・次時の学習内容を伝える。 	